



「継続は力なり・・販売拡大への足掛かり！」

立春が過ぎましたが、今年の会津は雪が多く連日寒い日が続き、春には程遠い今日この頃です。皆さんいかがお過ごしでしょうか。



依然コロナ禍の中ではありますが、昨年の4月から唯一2企業様での対面販売を継続することが出来ました。主に「パン」を扱っている事業所にお願ひし販売会を実施して来ました。会津圏域では、「パン」を扱っている事業所が多く、今回5事業所にお願ひし定期的に開催しました。各事業所の特色を活かしたチラシづくりや、季節・地域性を考えた販売日程を組み対応して来ました。思った以上にパンの需要も多く、社員の皆さんには、何時も待ち

望んで貰っている状況です。美味しい「パン」を提供することで、皆様には大変喜ばれました。社長からは、新たな企業様の紹介を受けるなど次へと繋がる嬉しいお話もありました。小さな販売会ですが、定期的に継続することの大切さや、小さな積み重ねが、大きなうねりに繋がっていくことに気づかされました。

次年度は、コロナの終息を願ひ「パン」以外の商品も含めた授産品の拡大に向け取り組んで行けたらと思います。改めまして、出店事業所の皆様には感謝申し上げます。



「養生とは・・？」

漢方で重要とされているのが、「自然治癒力」を高めるという「養生」の考え方です。「養生」とは、文字通り「生命を養う」ということで、自分の生活のなかで、不自然だな、悪いなと思うものを減らし、心と体が喜ぶことを増やし、生命力を養い高めていく事です。

冬は、寒さが厳しく心と体を冷やし気血の巡りを悪くしますので、体を温める食材を意識的にとることが大事です。しょうが湯や、辛味の発散作用で気血の流れをよくするカレーなどいいと思います。夏は、きゅうりやスイカで体を冷やすなど、季節ごとに自然と体が喜ぶ「養生法」を実践することが大事です。皆さんは如何でしょうか？

これから暖かい春を迎えるにあたり、活動的に過ごせるよう、寒く乾燥した季節に合わせた「養生法」を探ってみることで、自分の体を知るきっかけになるかも知れません。

(県中・会津圏域担当 増井 義博)



《事務局から》

新型コロナウイルスのオミクロン株の猛威も、2月上旬にピークアウトを迎えたとの報道もありましたが、福島県ではまん延防止対策措置が発令され未だに200名を超える感染者が出ております。各地でクラスターが発生し、特にワクチン未接種の学童等の発症が増えているとのこと。3回目のワクチン接種も進んでおり、通常通りの経済活動ができるよう早目の終息を願うばかりです。